



Japan International Consultants for Transportation Co., Ltd.

3-4-1 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0005, Japan

Tel +81-3-6269-9878 Fax +81-3-6269-9893

<http://www.jictransport.co.jp>

2015年8月4日

日本コンサルタンツ株式会社

ミャンマー連邦共和国において鉄道関係 大規模無償資金協力プロジェクトの施工が本格的に始まります

日本コンサルタンツ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山崎 隆司（以下 JIC））と株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：廣谷彰彦）のコンソーシアム（JIC がコンソーシアムの代表を務めます）は、ミャンマー国鉄より電子連動装置等の信号通信関連プロジェクトの施工監理業務を受注し業務を進めておりましたが、去る 8 月 1 日に機材納入等の関係する契約が全て締結され、本格的に施工が始まります。

なお、本件プロジェクトは、国際協力機構（JICA）の無償資金協力によるものであり、プロジェクト全体の総額は約 30 億円の規模となり、ミャンマーにおける鉄道関係の無償資金協力としては初めてのケースとなります。

1. プロジェクト概要

ミャンマー連邦共和国のヤンゴンエリアを中心に次の 3 つの内容から構成されます。

- (1) ヤンゴン中央駅への集中型電子連動装置の導入
- (2) 自動踏切装置の導入（1 か所）
- (3) ヤンゴン～ピュンタザ間（21 駅）の列車運行集中監視装置の導入

2. 工事完了予定

2017 年 6 月（予定）

3. JIC の役割

上記 1 の内容に関して、JIC は安全を考慮した施工監理、設備検査ルールの策定支援、踏切通行者に対するマナー啓発活動及び駅の進路取扱訓練や運行管理員の教育を行い、工事完了予定日までの完成を目指します。

※ 本プロジェクトの施工及び主な機材納入を担当するのは、三菱商事株式会社・日立製作所株式会社のコンソーシアム、また、集中型電子連動装置導入に伴って、必要となる転てつ機関係の機材納入業者は、丸紅株式会社・三井物産株式会社・三井物産プラントシステム株式会社のコンソーシアムです。

【参考】



自動踏切装置の導入（イメージ）



集中型電子連動装置及び列車運行集中監視装置の導入（イメージ）



集中型電子連動装置

列車運行集中監視装置

